

まにわ

駅開業100周年

1924年(大正13年)5月1日
美作追分駅～美作落合駅
～久世駅間開業

JR西日本の株
1億円分取得[予算可決]

写真上中 田んぼの中を走る1両列車
グンゼ跡地から黒尾下を見る
// 下左 美作落合駅プラットフォーム
// 下中 久世駅下り線路
// 下右 中国勝山駅舎

姫新線を守ろう



【主な内容】今回は会派代表質問4人 一般質問11人

- ・令和6年度当初予算12件及び補正予算10件を可決・議案23件を可決
- ・人権擁護員10名を同意・発議1件を可決・陳情2件を趣旨採択

令和6年度当初予算合計

549億2,822万円を可決しました

令和5年度3月補正予算合計

18億3,012万円の減額

予算特集は4ページに掲載

文教委員会否決も本会議で可決
真庭市立保育園条例の一部改正

令和6年3月31日をもって久世保育園を廃園するため、条例の所要の改正を行うものの。審査の結果、委員会では否決、本会議において可決されました。

【討論あり】発言順

反対討論 吉原啓介

久世地域の保育施設のあり方と今回の条例改正は別の問題として議論すべき。久世保育園は既に新年度の園児受け入れを停止しており、使わない施設となるものを条例の対象とすること自体、実態に合わない。これを対象から削除する条例改正は妥当なものと考ええる。

賛成討論 伊賀基之

条例否決に賛成する。否決の理由は、文教厚生委員会は新設民間こども園に視察を断られ、直接施設の安全面などを見ていない。民間こども園が開園し、正常な運営が確認できるまで、久世保育園廃園を延期するというもので、延長は必要な措置と考える。

反対討論 伊藤義則

①久世保育園は木造で耐震



廃園になった久世保育園 久世

性に課題を持ち、園児の受入を停止している。②星のこども園は私立であるが認定こども園である。③私立といえば愛慈園の貢献は市民の知るところである。条例改正は理にかなっている。

賛成討論 庄司史郎

委員会付託した重みを受け止め、委員会の決定は最大限尊重すべきである。5人もの委員が否決としたことは重いことである。このことで直ちに市民に不利益が及ぶものでもない。次回に再提案し、改めて十分な

審議をすればよいと考え、委員長報告に賛成する。

反対討論 大月説子

①久世保育園は保護者も認める老朽化した施設である。②防犯対策上残しておくことは良くない。③保育士が確保できれば他の保育園でも児の受け入れ調整は可能。以上のことから妥当な条例改正であると考ええる。

主な
議案
内容

廃園に賛成した議員 議席順

緒形 尚 加藤大悟 吉原啓介
柴田正志 妹島弘和 森田敏久
大月説子 伊藤義則 長尾 修
入澤廣成 妹尾智之 岩本壯八
古南源二 森脇正和
黒川 愛 浅野和昭 伊賀基之
福島一則 氏平篤正 西田文子
庄司史郎 中尾哲雄

廃園に反対した議員

工事請負契約の締結

【蒜山分署庁舎新築工事】

蒜山分署庁舎新築工事を指名競争入札で実施しました。契約金額は、3億8,060万円。契約の相手方は、梶岡建設(株)・(株)酒井工務店特定建設工事共同企業体です。

【学習交流センター(仮称)】

学習交流センター(仮称)新築工事を指名競争入札で実施



蒜山振興局前にできる蒜山分署庁舎 完成イメージ

主な 議案 内容

しました。契約金額は、4億4,990万円で契約の相手方は、三木・鳥越・三和特定建設工事共同企業体です。

工事請負変更契約の締結(生ごみ施設)

生ごみ等資源化施設整備工事において、物価水準の変動により8,037万2,600円を増額し、変更後契約金額は、38億9,737万2,600円。契約の相手方は株式会社西原環境・梶岡建設株式会社特定建設工事共同企業体です。

陳情

美作落合駅舎周辺環境整備に関する陳情

【趣旨採択】

美作落合駅周辺の駅舎駐車場スペースの全面舗装化、車止めの設置、駅舎前棚上部の改修及び屋根取付、地盤の修復を求めるもの。

審査の結果趣旨採択となりました。

陳情

旧ヒルゼンハイツの施設撤去と跡地活用

【趣旨採択】

蒜山上福田三木ヶ原地区における旧ヒルゼンハイツの施設を撤去し、将来の観光・地域振興につながる跡地活用に向けて早急な対応を求めるもの。審査の結果、趣旨採択となりました。

【討論あり】発言順

反対討論 入澤廣成

観光協会より観光地の景観、地元自治会から治安や防犯面から施設の撤去の陳情である。地元は旧ハイツに不安を抱き暮らしている。地元の議論ができていないのに趣旨採択で良いのか。観光協会、地元の不安を払拭するには、この陳情は採択すべきである。

賛成討論 庄司史郎

陳情者の思いは十分に理解するが、この土地における具体的な事業計画は何も明らかでないものはない。このような状況であることから、現時点においては委員長報告のとおり趣旨採

択とするのが妥当であると考
え、委員長報告に賛成する。

反対討論 妹尾智之

平成13年から廃墟になって
いる旧ヒルゼンハイツをこのま
ま残しては困るといのが地
域住民、観光協会の要望であ
る。治安や防犯、倒壊の恐れ
がある建物をこのままにして
事故があつてはならない。市が
出資している責任からも趣旨
採択ではなく採択とすべきで
ある。

賛成討論 吉原啓介

当該施設を撤去し、地域活
性化のための活用を図るとい
うことに関しては大いに賛同す
るところではあるが、対象の土地
建物は市が直接所有するもの
ではないこと、要望内容がいま
一つ具体的にないことから、陳
情としては趣旨採択とするの
が妥当と考える。

反対討論 長尾 修

地元住民からの長年の防災
防犯の観点から解体撤去とい
う部分が議論されていない。地
域住民の代弁者として地域の
不安、課題を払拭するのが我々
の役目であり、原案採択すべき
である。

賛成討論 伊藤義則

地元住民の20年来の陳情は



平成13年から廃墟の旧ヒルゼンハイツ 蒜山上福田

十分に理解できるが、第三セク
ター物件であり、明確な利活
用方法が決まっていないため、
趣旨採択に賛成する。

趣旨採択に賛成した議員

黒川 愛 浅野和昭 吉原啓介
伊賀基之 森田敏久 大月説子
伊藤義則 福島一則 氏平篤正
庄司史郎 古南源二 中尾哲雄

趣旨採択に反対した議員

緒形 尚 加藤大悟 柴田正志
妹島弘和 西田文子 長尾 修
入澤廣成 妹尾智之 岩本壯八

予算

令和6年度



緒形委員長

森脇副委員長

3月18日、19日、議長を除く全議員で予算審査特別委員会が開催され、当初予算と補正予算の概要について各部局長、課長等から説明がありました。委員から多くの質問があった後、すべて原案どおり可決しました。

一般会計当初予算 346億1,800万円 前年比1.0%増 過去最大の予算額

令和6年度の一般会計の当初予算額は、346億1,800万円で、前年度比、3億3,200万円、1.0%の増となり、市政施行以来過去最大の予算額となりました。

主な要因は、こどもはぐくみ応援プロジェクト関連事業のほか、基幹業務システム標準化・共通化、廃棄物処理施設集約化等の施設除却など、未来を見据えた積極的な投資によるものです。(金額は千円を四捨五入)



蒜山校地学習交流センター 完成イメージ

一般会計予算 主要事業 抜粋

1 こどもはぐくみ応援プロジェクト

- 真庭ではたらく保育士新生活支援事業 550万円
- こどもの放課後居場所確保事業 1億1,459万円
- 市街地公園整備事業 2,617万円

2 共生の地域社会まにわ

- 総合計画推進事業 1,553万円
- 集いの場活動支援事業 2,276万円

3 持続可能な地域づくり

- JR利用促進事業 1億1,017万円
- 「森の芸術祭」開催事業 2,854万円
- デジタル地域通貨「まにこいん」普及促進事業 1億5,968万円
- 老朽化施設の除却事業 10億763万円

4 「回る経済」の推進と「脱炭素」への挑戦

- 有害鳥獣対策事業 1億3,167万円
- 災害対策施設等整備事業 2,666万円

重点 久世校地利活用プロジェクトの推進

- まにわ地域共創拠点整備事業 5,278万円
- 認定こども園建設事業 8,028万円

重点 dXの推進

- 幼児教育施設ICT化推進事業 2,101万円
- 基幹業務システム標準化・共通化事業 2億1,180万円

令和5年度補正予算会計別集計表 単位:万円

会計名	3月補正額	3月補正後予算額
一般会計	△113,925	3,634,850
国民健康保険特別会計	2,071	504,297
後期高齢者医療特別会計	△1,775	78,209
介護保険特別会計	△26,771	649,464
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	△52	5,204
浄化槽事業特別会計	△164	4,714
津黒高原観光事業特別会計	0	2,926
クリエイティブ谷事業特別会計	0	935
温泉事業特別会計	△918	12,269
特別会計合計	△27,609	1,258,018
水道事業会計	△22,405	218,453
下水道事業会計	375,498	329,639
国民健康保険湯原温泉病院事業会計	△6,132	178,296
公営企業会計合計	△41,478	1,494,254
合計	△183,012	6,387,122

令和6年度当初予算会計別集計表 単位:万円

会計名	令和6年度予算額
一般会計	3,461,800
国民健康保険特別会計	492,868
後期高齢者医療特別会計	93,943
介護保険特別会計	638,272
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	5,447
浄化槽事業特別会計	4,212
津黒高原観光事業特別会計	2,835
クリエイティブ谷事業特別会計	764
温泉事業特別会計	10,722
特別会計合計	1,249,063
水道事業会計	224,706
下水道事業会計	375,498
国民健康保険湯原温泉病院事業会計	181,755
公営企業会計合計	781,959
合計	5,492,822



生ごみ等資源化施設完成イメージ 赤野 施工費は約39億円、濃縮施設は約13億円

総務常任委員会

委員長 加藤 大悟 委員 小田 康文
副委員長 西田 文子 委員 庄司 史郎
委員 岩本 壯八 委員 長尾 修
委員 緒形 尚 委員 中尾 哲雄

本委員会は、令和5年12月14日、令和6年2月8日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《財産活用課》

■施設カルテについて

令和5年度に「施設カルテ」を作成した施設は261施設となります。

施設カルテの内容は、施設の基本情報、直近3年の利用状況、収入・支出の状況、建物情報と改修の実績、施設の評価情報として、老朽化の度合いや利用状況、コストなどの評価を行っています。なお、施設カルテの評価内容は、これまで実施してきた直営施設評価の内容と重複するので、今後は直営施設評価にかえて施設カルテを毎年更新し、公表していきます。

この施設カルテは、令和5年度中に真庭市ホームページで公表し、令和6年度からは、施設カルテの情報をもとに、所管課、関係部署で個別施設の在り方について検討を進めていきます。

施設カルテ	
基本日：令和5年3月31日	
施設基本情報	
施設名	三木ヶ原ふるさと特産館
観光部	
政策課	
系施設	
系施設	
施設外観	
市森山上福田1201-7	
施設	
市三木ヶ原ふるさと特産館条例	

市が管理している施設ごとのカルテのサンプル

問 施設の設置目的と事業内容に乖離があると思う。そこもカルテで評価し、施設の必要性が明確になるよう、施設目的に沿った使われ方がどれだけ出来たかに主眼を置くべきと思うが、いかがか。

答 実際の状況を公表し、見える化することで、施設の課題を洗い出し、色々な御意見をいただきながら、今後その施設をどうしていくか検討していく。

《危機管理課》

■令和5年度岡山県地震対応訓練の報告について

真庭市は1月19日に岡山県主催の地震対応訓練に特定市町村として参加しました。

訓練は、岡山県北部でマグニチュード7を超える断層型地震が発生し、真庭市で震度7を観測したという想定に加え、スキー客の孤立や雪崩にバスが巻き込まれるなど大きな被害も想定し、災害対策本部や現地災害対策本部の運営訓練と、冬季における避難所開設運営訓練を実施しました。主な成果は、災害対策本部を実際の災害時と同じように設営し、各対策班に分かれて業務を行うことで、災害時の状況を体験したことにより、様々な気づきがあったことです。

訓練全般における反省点及び改善の方向性ですが、訓練前に今回の訓練の意義の説明や、参加者に求められる行動等の説明が十分でなく、訓練当初、何をすればよいか分からず、指示を待つ状況がありました。



地震対応訓練の様子 本庁舎

問 今回訓練を受けて今後真庭市独自でこういった訓練をする予定があるのか。スケジュールを組んで積極的にやるべき。

答 具体的にいつという訓練をするかは決まっていないが、反省点のどれかを改善できるような訓練を行っていきたいと考えている。

今後の訓練時には、事前に訓練目的や、主要訓練内容をきちんと説明し、参加者の業務の明確化、訓練で何を学ぶかを周知した上で、訓練に臨めるよう、準備をすることが大切であると感じました、との説明がありました。

文教厚生常任委員会

本委員会は、令和5年12月13日、令和6年2月7日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《教育委員会》

■公共図書館と学校図書館の蔵書管理の一元化

生涯学習課図書館振興室から、公共図書館と学校図書館の蔵書管理の一元化について説明がありました。

令和4年度に学校図書データのベース化を完了、令和5年度は公共図書館と学校図書館の蔵書管理システムの連携が完了し、順次運用を開始しています。連携後は、市内の小中学校間で相互に図書資料の貸し借りや、公共図書館の図書資料の利用が可能となります。児童・生徒と教員の読書や学習活動に繋がっていきます。また、蔵書管理システムの更新にあわせて機能を向上し、スマートフォンを「利用者カード」として利用できるようにする等、公共図書館の利用者の利便性も図っていくことです。



中央図書館で本を借りる子どもたち 勝山

問

学区のこともあり小学生が一人だけで図書館に行けない児童がいる。このシステムで改善できるのか。

答

図書館に遠い子どもたちがいるのは認識している。今後、活用について検討し、令和6年度から、市内小中学校の児童・生徒について、学校図書館で公共図書館の本を取り寄せ、自宅に持ち帰ることが可能となる。

《生活環境部》

■旧遷喬尋常小学校校舎保存計画

スポーツ・文化振興課から、旧遷喬尋常小学校校舎保存計画について説明がありました。

この計画は、文化財保護法に基づく指針や、重要文化財建造物保存活用計画作成要領に沿って策定するものです。計画期間は、令和6年からの10年間で、令和6年度に周辺環境調査を行い、令和7年度は耐震診断の見直しを含めた調査工事を予定しています。順調にいった場合、令和10年度から補修修繕工事に着手する予定としています。保全管理計画を掲げ、保存管理の現状と破損状況、改造箇所を明記し、別途行う調査工事により保存修理工事実施期間を精査し決定することとしています。

環境保全計画の他、防災計画も明記し、文化財保護審議会へ説明した後、3月末に編集終了し岡山県を通じて、文化庁に提出する予定と説明がありました。

問

西側トイレを壊すのは何故か。全体計画に盛り込むべきではないか。

答

工事の施工・防火上、やむを得ない。公衆トイレの件は認識している。

問

保存活用計画は市民の意見を吸い上げた上で、この活用方針を掲げてあるのか。

答

市民の策定委員からも意見をいただいている。工事期間中であつても、意見を聞く場を設け、絶え間なく取り組みを続けていく。



旧遷喬尋常小学校前 エスパスランド土広場でイベント 鍋屋

産業建設常任委員会

委員長 柴田 正志 委員 妹尾 智之
副委員長 森脇 正和 委員 森田 敏久
委員 伊藤 義則 委員 吉原 啓介
委員 入澤 廣成

本委員会は、令和5年12月15日、令和6年2月9日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《産業観光部》

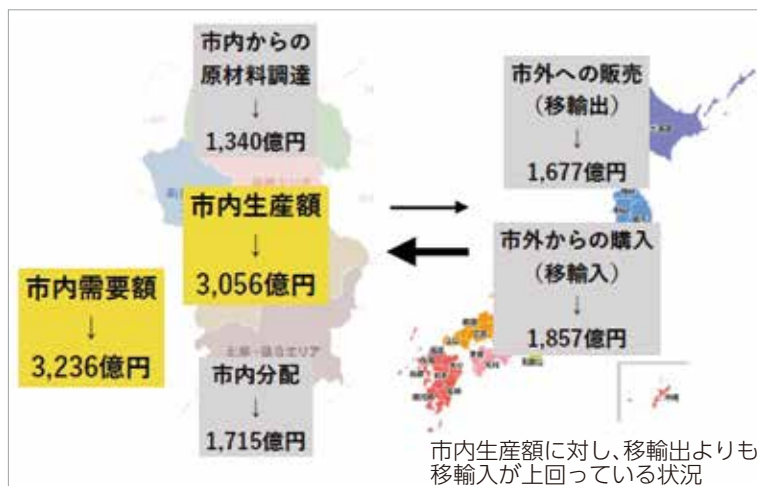
■ 回る経済の推進について

産業政策課から「回る経済の推進」について、説明がありました。

経済産業ビジョンの産業連関表では、市外への販売と、市外からの購入の差で約180億円の赤字となっていました。真庭市は人口が減少し、経済の規模も縮小する中で、真庭市内にある資源の価値を見だし、それを市外から資金を獲得するような流れを作っていく必要があると考えており、産業dX戦略を策定し、経済産業ビジョンの実現に向けて政策及び推進体制の見直しを現在行っています。

問

真庭市の場合、修徳館にしても、ゆフィスにしても、蒜山ひとときにしても、場は一生懸命作っているが、こういう事業者とのつながりを作っていくかというのがポイント



だと思う。真庭市に直接関係ない仕事でも、そこで真庭市出身の、色々な業界で活躍している人たちの出会いをつなぐ場所といった考え方が必要。シェアオフィスの関連事業に関して、もう少し全国的な広い視点で事業の組み立てを考えるべきではないか。

答

シェアオフィス自体は今までワーカーの方とか一過性の利用ことでは、一方で地域に根付いていきたいと考えている。

■ 市有林を核とした新たな森林管理体制の検討状況について

林業・バイオマス産業課から市有林を核とした新たな森林管理体制の検討状況について説明がありました。

真庭市と、民有林である山林所有者は、施業発注や補助金等を含めたお金の流れを見ても、それぞれが連携することなく森林整備を行っており、将来に向けた山づくりが進んでいないというのが現状となっています。

このため市有林を核に、周辺の民有林を一体的に管理する方



次世代に繋ぐ森林管理を 林業・バイオマス産業課提供

針とし、その中で新たな山守の組織が主体となり、市有林の管理と合わせて、その周辺の山林との集約化を図り、森林組合とも連携しながら、実践段階で皆伐・再造林による人工林の更新や間伐等を進めて、将来の世代に多様な森林資源を残していくこととしていることでした。

問

山林の信託ではなく、あえて委託形式にすることについての理由、背景について説明いただきたい。

答

真庭市の場合、森林組合や林業事業体では所有者との委託契約により施業を行うという体制を取っており所有と経営を分けている。

現状の体制の中で集約化して、効率的な施業をしていくことがこの地域にはマッチするという考えのもとに、このような構想にしている。

一般質問

3月定例会の議事録は
6月上旬から閲覧できます
一般質問の記事は、代表質問は1200文字、
個人質問は800字以内で、質問した議員本人が
まとめています。

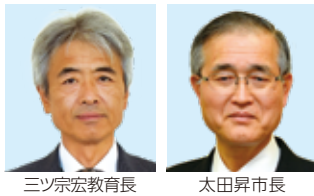
会派代表質問



森眞会
庄司 史郎

組織内の陣容整備は
できているのか

職員の数を含めた職員配置、そういった陣容整備が十分できているのか。再編によって課の名前が変わったり、政策統括監を置いたりとか、いろいろ工夫しているが、真庭市の職員定数に達している状況ではないと聞いている。



三ツ宗宏教育長
太田昇市長

業務を計画する段階で、業務がしっかりと遂行できる組織体制、人員配置も含めてき

ちつとやっていかないと、職員がパンクして、不本意ながら辞めていかざるを得ないというようなことがあつては駄目だと思う。

答 太田市長

十分ということはない。常にこうしたらいい、ああしたらいい、職員と一緒に頑張って対応していくということ、十分に分かと言われたら、十分ということはありませんという答えしかない。

問

久世校地跡地利活用の
アクセスは

久世校跡地を利用するに当たっては、アクセス整備をするということが非常に大事である。国道181号との庁舎東側の交差点、イズミ前の国道313号との交差点、現在でも朝夕の通勤、帰宅時間には非常に

混んで、何回も信号待ちをしないと通れない状況にある。

早急に交差点改良をする必要があると思う。県とアクセスについてどういった話を今後していくのか、しているのか、この両方の交差点改良ができない限り、施設を造っても、いろいろな問題が起きてくると思う。

答 太田市長

久世校地のアクセスの問題、県と、安全を扱っている県の公安委員会、県警とすでに協議を始めている。完全に全部できなければ、それまではやらない



混雑しているイズミ前交差点 惣

問

というような硬直した考え方はとるべきじゃないだろう。ただ、全体像というものは一定いるだろうと思う。

まずは沿線自治体
との連携強化を

JRの株を一億円で買うというのは、JRの株式総額が一兆五千億円ほどであるから、一万五千分の一ということで、1%にも遠く及ばない数字である。一億円の株式取得よりも、今やるべきことは、沿線自治体が一つになって、存続を目指して取り組む土台をつくること、市長の一番大事なことはないか。

答 太田市長

マスコミ等で物凄く取り上げられ、新聞にも全国紙で出て、テレビでも全国放映されて、それ以後も様々な取材がある。地方自治体の立場から地方路線を守る、そのために株主として意見を言う。また、そのために公金として株取得して株を持つということが、社会的、政治的というか、そういう面で意味を持つ。既に津山市を中心にして、姫新線、因美線、そして津山線含めて公開で議論したこともある。それぞれの自治体の状況からというものもあるが、当然広域的に議論していく。

みんなの会
伊藤 義則



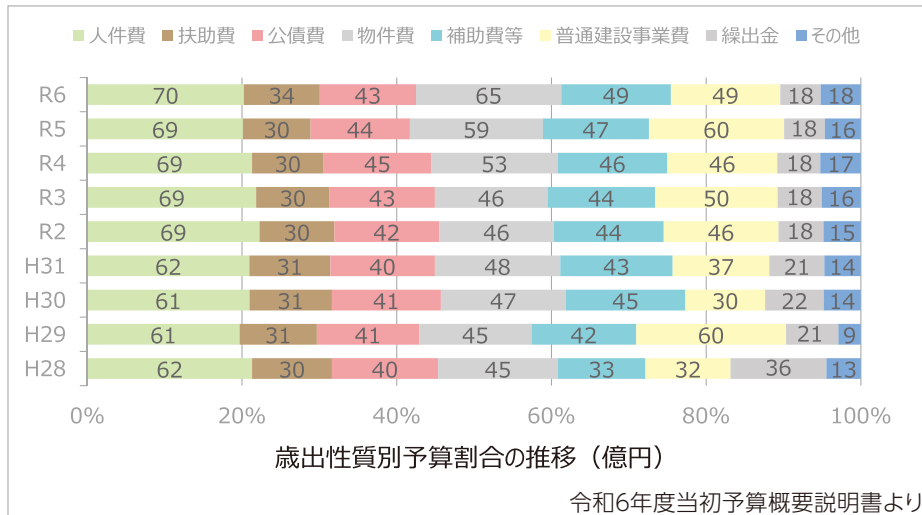
一般会計当初予算案と財政見通し

人口は減っているが、当初予算額は人口減少に反比例し過去最高になっている。歳出を見ると義務的経費が147.5億円となり、人件費が70.4億円となり歳出構成比が20.4%を占めている。「真庭市財政の見通し」（令和6年度・令和10年度）によると人件費が恒常的に70億円〜72億円と高止まりし、予算ベースの収支が令和6年度・令和10年度の5年間で66.8億円の赤字に転落する見込みであるとのこと。（財政調整基金を繰入予定）経常収支比率も令和6年度以降94%〜95%になり、時代に合った、団体のニーズに対応した事業の実施が難しく

なる。「真庭市中期財政計画」の対策項目を具体的に伺いたい。

答 太田市長

予算規模が過去最大になった理由は、子育ての充実を図りながら使用期限のある「合併特例債」を使っているの除却を行うため。中期財政計画につ



問

地域の公共交通

いては、人件費を含めた固定経費は上がり「経常収支比率」は高くなる。いざという時には基金を使うが、警戒するべきと思っている。個別では特別会計等の自立だが、一般会計からの下水道事業への基準外繰出金（赤字補填）と湯原温泉病院経営の経営については問題意識を持っている。スクラップ・アンド・ビルドはCAPDサイクルで評価を行って事業の廃止、縮小で財源を捻出している。

公共施設等の総合管理計画は、今、施設カルテを作って今年度中に公表する。これから人口が減るため次世代の市民の負担を軽くすることは総論賛成と各論反対になりがちだが議論していく。人件費対策は70億円という現実を押さえながら、事業のスクラップだとかdXだとか事務改善とか、組織再編、適正な人員配置を行う。

コミュニケーションバスにわくんに加えて4月から久世・勝山・落合でデマンド交通チヨ

イソコマにわが運行される。共助による地域内交通が二川地域、津田地区に加えて中和地区で運行される。市内公共交通体系の利便性を向上させるとあるが見解を伺う。

答 太田市長

足の確保は大事である。まにわくんを作ったことは大きな成果で、それを地域の実態に合った形でデマンドを行ったり、チヨイソコを行い公共交通を充実させる。

問

水道基幹管路の耐震化

能登半島地震では水道が大きな被害を受けている。真庭市は管路の老朽化も進行している。それに伴う耐震適合率が進まないことが問題になっている。真庭市はどう対応するのか。

答 太田市長

国の耐震化基準



たべものステーションへの「提供ボックス」 若代

真和会
柴田 正志



子どもの食の権利

①給食費の本来の位置づけをどのように考えられているのか。②フードバンクや子ども食堂はどういう状況なのか。

は震度7レベルで真庭市の実態に合わない。老朽管対策は行っている。

答 太田市長

①全国的に無償化すべきという中で真庭市として、どうしていくのかをスピード感を持って議論していく。②フードバンクは広がってきている。落合人權福祉センターを活用し、子ども食堂の場を用意している。今年度は加えて市内2ヶ所で県の補助金を活用し取組が開始されている。単に貧しいから食をとっているのではなく、孤食を避ける、ふれあいの場、食育という観点からも行われており支援していく。

問

久世校地跡地の活用

夢と希望が感じられる理想的なエリアをゼロから作っていただきたい。跡地利活用の検討を進める上での根本となる考え方、理念についての所見を伺う。

答 太田市長

7.2 haの土地で立地条件からも地域の宝と言える土地だと思う。認定こども園は、

令和8年度以降の出来るだけ早い時期に整備をしていきたいと考えている。理念は現時点では産業・学び子育てを中心にした幅広い拠点にしていきたいと考えている。

問

まちづくり

都市計画マスタープランに描かれたまちづくりは計画通り進んでいるのか。

答 太田市長

都市計画区域の勝山・久世・落合を中心市街地の拠点と位置づけ、それぞれの特徴を持つ展開する。湯原・蒜山を観光拠点として整備している。地域生活拠点として北房・美甘・湯原・中和・八束・川上は空家対策と地域自治の充実を進めている。ネットワーク化では、まにわくとチョイソコの交通手段の充実、必要な道路の整備、JRの利用促進を含めてやっている。勝山地域では魅力的な個人商店が少しずつ開業している。一方で、町並みの空家は深刻な事態になっており、今取り組んでいる。

問

災害対応力の向上

災害時の給水とトイレの対策についてどのように考えているのか。

答 太田市長

給水体制をもう一度確認して必要があれば手をうっていく。トイレについては各振興局に簡易トイレを備蓄しているし、必要な場合は協定に基づいて調達してもらっているようにしている。新しい公園を造る所についてはマンホールトイレを設置することを前提に進めている。

問

川ごみ海ごみの削減

県のおかやまアダプト事業（清掃等の美化活動の支援）がある。現在は落合・北房を中心に83団体が取組まれている。この事業を市内全域に推進していくべきと考える。

答 太田市長

十分周知して活用もしていく。

緑真会
森脇 正和

問

真庭市の防災対策は

① 1月19日、真庭市は岡山県主催の地震対応訓練に参加、岡山県北部で断層型地震が発生し真庭市で震度7を観測した想定で訓練を行った。訓練の成果報告を見たが、初動の時点での問題や災害対策本部会議など様々など課題があったとされている。今回の訓練で何を感じ、今後どうすべきか伺う。



②能登の大地震で市民の防災意識は高まっている。自宅、事業所において非常用持ち出し袋に購入補助ができないか。
③生活用品・おむつは、本



1月19日に行った地震対応訓練の様子 本庁舎

庁舎にしか備蓄されていない。各振興局に備蓄すべきでは。

④危機管理課に女性を配置し女性目線で防災対策、避難所の設営計画を見直す考えはないか。

⑤身近で起こる災害は、豪雨災害である。防災無線のない真庭市で屋外にいる人に知らせる手段は、防災メールである。多くの人に登録してもらうことが課題と思うが考えを伺う。

答 太田市長

①合併以来、30年豪雨を除いて災害対策本部を立ち上げたことがない。経験ができていない。いろんな想定をしながら緊張感をもって真庭の防災力の強化にいかしていく。

②自主防災組織の補助金を利用してもらう。企業については、原則は従業員の生命を守るというのは事業者の責任、責務ということを国のガイドラインで定めている。

③有事の際に必要なものを供給することを基本とし、供給できない場合はホームセンター等と協定を結んでいるので、必要な供給をしてもら

う。令和6年度から各学校に生理用品を置くのもそれも活用していく。

④令和4年6月に地域防災計画の見直しをした。女性の視点を取り入れて計画を充実していく。危機管理監の下での組織においても女性職員の配置を検討する。

⑤広報するとか、出前講座を行なっている。今後も充実に努めていく。

問

回る経済まじいん

①昨年1月から始まったまにこいん。加盟店、ユーザーも増えた。満足度調査を試みたらどうか。

②令和6年度の取組概要にスーパーアプリ化、外貨の獲得、事業者の利便性の向上とあるが具体施策は。

答 太田市長

①アプリのリリース時に導入に向けた意識調査を実施している。今後、改めて利便性の向上のために意見を聞くことをする。

②マイナンバーと結びつける。ふるさと納税ができない

か検討もしていく。地域活性化のために充実していく。

問

JR西日本株式取得

JR西日本の株取得に1億円を充てる。市民や議会の理解が得られれば今後、購入金額を増やすことも考えるところがあるが、どれくらい取得するのか。

答 太田市長

今後、様子を見ながら進める。

個人質問

妹尾 智之



問

学校施設の老朽化対策の推進

昨年4月に福岡県北九州市、10月に埼玉県久喜市において、学校施設の老朽化に起因する外壁の落下事故が発生した。いずれの校舎も築40年以上経過して老朽化

が進んでいる。老朽化した学校施設で外壁が落下する事故が相次いでおり、今後、重大な事故につながるおそれも否めない状況となっている。以下の点について伺う。

①市内の学校施設の築年数や建築基準法第12条に基づく調査、点検の状況と結果はいかがか。

②防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策で令和7年度までの修繕や改修の計画はどのようになっているか。

③老朽化対策に外壁と併せて校舎内落下対策もしっかりと対処していくべきと考えるがいかがか。

答 三ツ教育長

①26校中、築後20年未満が9校、20年以上40年未満が9校、40年以上が8校という状況になっている。令和2年度から4年度にかけて、市内26校全ての点検を実施している。そのうち専門家の指摘により外壁落下の防止工事、改修工事、これを実施したのが1校という状況である。



外壁タイルを修繕 河内小学校

②真庭市も真庭市国土強靱化地域計画を策定、教育委員会では、この計画と真庭市学校施設マネジメント基本方針に基づいて学校施設の各種改修を予定し、現在行っている。

③子どもたちが学習、生活する内部環境、この安全は非常に重要だと認識している。点検では、場所にもよるが、目のみならず、打音とか振動、負荷をかける等によって安全性の確認をしているところである。引き続き学校が行う定期点検や日常点検、これを通じて不具合が確認された場合には、報告を受けて対策を迅速に行うことに努める。

加藤 大悟

問



不妊不育助成対象者を事実婚も対象

真庭市の共生社会推進における補助金及び助成金等の制度の問題点と少子化対策について、共生社会の趣旨とは相入れない条件が付されている。不育治療支援事業や不妊治療支援事業は、婚姻や事実婚をしていない方については補助対象外となっている。共生社会の中で婚姻などをしていないという理由で対象外とする姿勢は全く理解できない。

アメリカやフランス、スウェーデンなどでは社会から認められて支援を受けられる体制となっている。

少子化対策に成功している海外の事例として、フランス、スウェーデンなどでは婚外子



不妊・不育の治療支援 イメージ

の割合が大きく、経済支援と保育の充実などの両立支援を強化していると紹介している。少子化対策を進めるため、早急にこの条件を見直し、公平な補助金等の運用をすべきと考えるが、市長の見解を伺う。

答 太田市長

真庭市の現行制度において、不妊不育治療の助成だけではなく、ほかの関連も、婚姻や事実婚をしていない方とか、婚外子に対する補助などの条件が、ヨーロッパの国とは異なっているということは十分認識している。

フランス、スウェーデンなどの一部の国では社会保障制度が相当広く適用されている。フランスでいわゆる婚外子の関係での何ら差別という

か、区別というか、それが無い。それが出生率の向上につながったというのも事実としてある。公金の適正な運用を確保しながら、共生社会の理念に基づいた制度の発展を目指していく。

不妊不育治療に関する支援制度の規程を点検したところ、不育治療の助成対象者が法定婚に限定されている。これはその必要はない、事実婚も含めて対象にすればいいということ。規程を改正し、4月から事実婚も助成対象とする。

氏平 篤正

問



旧遷喬と久世の課題

旧遷喬尋常小学校の解体保存が14億円から20億円に。西側の新しいトイレを壊す、校舎後ろにエレベーター棟を建てる、カフェを造る等々と説明。合併以来、何もしてない久世には地域課題がいっぱいある。①公立こども園は。②遊具のある児童公園は。③久世地区の避難所と体育館

は。④53年を過ぎた久世公民館は。事業実施には順番がある。それぞれの程度の規模でいつ頃建設するか伺う。



毎日使われている久世公民館

答 太田市長

①令和8年度以降早い時期に整備する。全力でスピード感を持って進める。②北町公園基本構想計画に親子で遊べ、地域で子どもを守り育てる公園と位置づける。③当然、避難とかスポーツ活動ができる環境は必要。

答 三ツ教育長

④公共施設の最適化を検討中。まだ決定してない。

問

久世校跡地とこども園

①久世校跡地全体で、この地方にない特徴ある物、

テーマパークとか昨日も市長が言った新しい物とか考えなかったのか。②岡大、木材ありきの発言が節々に。林業木材、新しい農業、こども園の3つのゾーンが決定したとして、市民が求める公立こども園の前倒し工事ができないか。

答 太田市長

①テーマパークは勇気が無い。7haをどう使うか私も勉強する。将来にわたり宝の土地だと思っている。

答 樋口健康福祉部長

②公立こども園の整備は早急に行わなくてはならない。様々な調整がある。

問

健全財政・基金は330億

基金を利用してJR西日本の株を取得すると説明を受けた。真庭市の基金を含めた財政状況を伺う。

答 太田市長

すぐく健全財政。基金は一般会計319億、特別会計を含め330億円ある。むしろ財務省から目をつけられている。

黒川 愛

問



市政20周年対話と議論を

合併で得たもの、失ったものがある。真庭市は広く、色んな地域で色んな暮らしがある。そのことをぜひ見て、隅々の市民の意見・気持ちを含め、20周年を振り返って。振興局は重要な拠点。市内に三二東京をつくらない」課題は。

答 太田市長

IT化で、来なくても申請でき、給付が受けられるシステムにし、事務総量を減らし、効率化していく。必要なことはフェース・ツー・フェースで徹底的に相談にのる。

一人一人の価値観も変わらなきや駄目。社会変革には、価値観が変わることを前提にやっ



10代の居場所「ユースセンターまあぶる」 久世

問

ていかなないと。自立した個人をつくり、ITもフル活用し、人間として尊重し、話し合いを前提に、対話と議論が基本。地方自治にとっても基本。

若者の社会参画推進を

具体的にどう若い人の声を市政に反映するか。声をあげる、主体的に自分達や真庭市を話し合う場づくりを。若い職員も一緒に。主権者教育、社会教育は。

答 三ツ教育長

郷育で、地域の方々と対話し考え、共に活動する。実感を持った課題解決的な学びを進めている。対話したことを一緒にを行う機会として、地域学校協働活動もある。

答 木村総合政策部長

若者と一緒に色々話をする場を支援し、市の将来を議論する場をつくりたい。

問

放課後児童クラブの充実を

待機児童の解消を。子ども

の数は減っているが、クラブに入りたい子どもは増えている。待機児童にどうして向き合おうとされないのか。実情把握できていないから、各クラブに負担がかかっている。17施設を訪問し丁寧な調査を。

答 太田市長

学童保育の充実と施設整備は全力を挙げてやっていく。

答 樋口健康福祉部長

各17クラブを回り、個々の意見、状況を整理したい。

吉原 啓介

問



公金の管理運用方針及びその公開

公金、つまり歳計現金や各基金等は市民の財産であり、その管理運用については、确实かつ有利、効率的な方法で行うことが法令により定められている。真庭市の公金管理実務における基本的な考え方や方針等について伺う。

○真庭市の各基金条例の



金融政策変更もどう影響してくるか… イメージ

運用というところまで考えているか。

答 太田市長

基金の具体的な管理方針だが、これは公開して何の問題もないので、今回質問いただいたことで、ホームページに出していく。その基金管理の原則、安全性があつて、流動性があつて、効率的で、というようなことを中心に運用していく。

ほとんどにおいて、基金の管理に関する事項は市長が別に定める、とあるが、その「別に定める」方針等は開示されていない。市民に対し、市の政策根拠や取組み姿勢をよりわかりやすくするためにも公開されるべきと考えるが、どうか。

○来年度の予算方針において、将来の厳しい財政状況を見据え、今後の財政運営にあたってあらゆる手段で歳入を確保するということが述べられている。ここに基金等の管理運用方針はかかわってくるのか。

○公金の管理運用の範囲をどの程度まで広げていくのか。歳計現金まで含めた一括

答 今石会計管理者

基金と歳計現金とは同じ公金資産という意味ではひとつだが、一体運用ということでは今のところは考えてはいない。そのあたりもできるかどうか、研究していきたいと思っている。

浅野 和昭

問

がん患者への医療具
購入助成



真庭市民でがんと診断された方への心理的、経済的負担を軽減し、社会参加の促進及び療養生活の質の向上に寄与するために、がん患者に対する医療具購入への助成金を設ける考えはないか伺う。具体的には、1、医療用

答 太田市長

真庭市としても助成制度を作る。

問

園児へのメデイア
リテラシー教育

答 太田市長

正しい情報判断をできるように育てるため、就学前からメデイアリテラシー教育を学ぶことが重要であると考え、真庭市立こども園、保育園、幼稚園に対してメデイアリテラシー教育を導入する考えはないか伺う。

真庭市立園児へのメデイアリテラシー教育であるが、文科省も関与してくると思う。そうした動向なども踏まえながら、必要に応じた取組を検討する。

緒形 尚

問



共生社会まにわの
実現のために

障がい者雇用の促進等に関する法律が改正された。この法律のベースには、障がい者も自立した一人の社会人として企業や社会に貢献しようという、ノーマライゼーションの理念が込められている。市でも、障がいの有無に関係なく、希望や能力に応じて誰

答 太田市長



認め合い、共に生きる社会へ ワークプレイスマにわ

もが職業を通じた社会参加のできる共生社会をつくっていく必要があると思う。市の障がい者雇用の現状また課題、今後の取り組みについて伺う。

共生社会推進基本方針を踏まえ、ノーマライゼーションを基本理念とし、障がいのあるひとり一人の働き方の希望や能力に応じた相談から就労、その後の定着に至る総合的な就労支援の推進を基本施策の一つに掲げている。就労後のフォローを行うジョブコーチの育成研修の費用助成等の制度の周知を図り、安定して働き続けられるように定着に向けた支援を

問

インクルーシブ教育
の推進を図る

インクルーシブ教育の推進に伴い、今後も通級指導教室利用者の増加が予想されると思うが、市の通級指導教室の現状と課題、今後の在り方について伺う。

答 三ツ教育長

生活や学習に困難を抱える子どもたちが、それを改善、克服するために、指導を行いながら個々の状態の改善状況に応じて通級指導教室を退級して通常の学級に戻るといった取組を進めている。

施設環境に関しては、児童・生徒数が減少していく中で通級指導教室の利用人数の推移も注視しながら、子どもの教育的ニーズを最優先にして、望ましい通級の運営形態と併せて、施設の在り方についても検討していきたいと思っている。

AQUADOLL



シンプルながら魅力的

医療対応フルウィッグ

AQUADOLL VENUS | スワンショート人毛MIX

医療用ウィッグを使用して笑顔輝く女性 クロスオーバー提供



足こぎ車いすに乗る利用者 イメージ

岩本 壯八



足こぎ車いすの活用

足が悪くなると杖、歩けなければ車椅子、車椅子も動かさなければ介助者、車椅子にも乗れなくなるとベッドへと現行の福祉用具は、不足している身体機能を補完するものが殆ど。

しかし、生まれて間もない赤ちゃんの両脇を抱えて前に傾けると、両足を交互に前に出す動作をする。これは脳の指令ではなく、反射的な指令が脊髄の原始的歩行中枢から出ていると考えられ、脊髄の神経回路が動作を制御

している。半身麻痺の人は脊髄中枢が機能していない

が、足こぎ車いすのペダルをこぐと、麻痺していないほうの足から麻痺した足へ反射の信号が伝わる。最初の一こぎが僅かにできれば、反射的な指令によって片方の足も動くという体の仕組みを利用して、ペダルをこぐのと同時に筋肉が活動し、筋力の回復により起き上がりたり歩けるようになった方もいる。活用していただきたいが、市長の所見を伺う。

答 太田市長

身体障がいの方にとって本当に有意義なものだ。幅広く活用できるように前向きに検討をしていく。

問

フェーズフリーを 取入れよう

日常時や災害の非常時などのフェーズに関わらず、生活の質を確保しようとする概念がフェーズフリーだ。つまり、「いつも」と「もしも」の2つのフェーズをフリーにするという新しい価値観だ。例え

ば、市も導入を進めている電気自動車。普段は業務のため

の庁用車として、災害時には避難所の電気確保のための蓄電池としても使用できる。全ての施策や事業にフェーズフリーの概念による施設やまちづくりを取り入れるべきだ。

答 太田市長

フェーズフリーの視点を災害関係も含め、施策に取り組む。それが全体として安全・安心な地域社会づくりにつながると思う。

森田 敏久



問

少母化が課題 (少子化ではない)

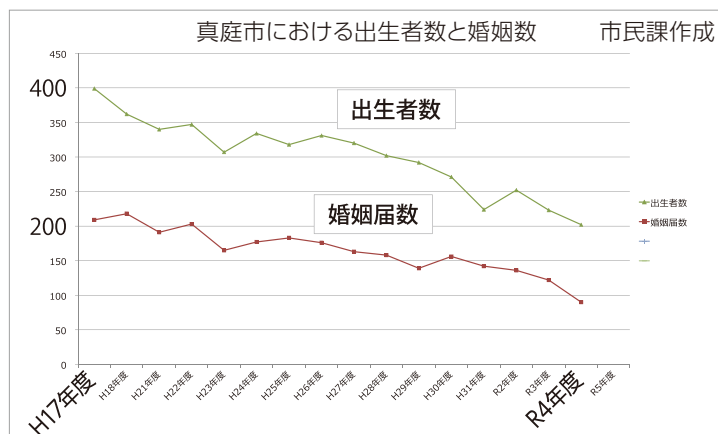
少子化問題に欠けているのは、少母化が考えられるが、小母化に対する施策が必要ではないか。20歳から24歳の女性の転出が多くなっている。この課題にどう対応しようとしているのか。産後における意識調査では第一子妊娠中の93%が産後を不安として

いる。初産に特化した支援が必要ではないか。男性の生涯未婚率は、年々上昇し、女性も14%（平成27年）となっ

ている。反面結婚する意志を持った未婚者も高い水準にある。障害になっている経済的問題、仕事の問題を行政はどう援助できるのか。

答 太田市長

小母化施策と転出対策を含め、背景には将来に対する不安がある。この年代の転出が全体の64%となっている。



将来的には企業の人手不足、地域経済の縮小にも繋がる。男女のバランスが崩れ婚姻率が低くなる。

真庭市として市内交流イベントの実施、新婚世帯への支援事業を行ってきた。令和6年度から女性就業率の高い医療・福祉事業への支援を充実させるため、看護師等の育成奨学金の拡充、保育士の新生活支援、介護人材確保支援制度の新設を行う。

初産に特化した支援については、妊娠婦ケア事業等の利用につなげ継続的支援を進め、気楽に相談できるライン相談の紹介も行っている。来年度は、母子健康機能と児童福祉機能を併せ持ったことも家庭センターを、子育て支援課に設置し総合的な相談体制の充実強化を図る。

結婚の障害について一番大きいのは将来不安、ジェンダー平等になっていないのが大きな要因である。

令和6年度より住宅施策の充実、ハッピーコンシェルジュ事業の拡充を図り新婚世帯の新築改築、家賃、引っ越しの補助の経済的支援の充実を強化する。

伊賀基之

問



中山間地域での災害への備えが必要

能登半島地震では、中山間地域で集落が孤立した。真庭市では、頻発する豪雨災害で何日かの孤立が集落に起こるのではないかと。広い真庭市には山間部に多くの集落が点在しており、孤立化への対応が必要である。①自主防災組織は活動に差がある。組織の必要な所ほど高齢化で困難もあり、伴走的な支援が必要だ。②28カ所の避難所には防災備品・資材の備蓄があるが、市が避難場所に備蓄しているのは一カ所だけである。孤立化の予想される集落の避難場所にも同様の措置が



平成30年7月豪雨による旭川の氾濫
落合野原

必要ではないか。

③多人数を収容できる避難所が小中学校の体育館しかない地域では、国の交付金も活用して空調の設置も考えるべきではないか。

答 太田市長

②自主防災組織補助金を、活用していただきたい。

答 三ツ教育長

③小中学校の体育館は空調設備の設置を前提に建築されていない。高額な工事費、ランニングコストなどの課題もある。避難所の在り方については総合的に考える。

答 今石危機管理監

①自主防災組織に温度差が相当ある。自主防災組織の代表者と相互に連絡を取り、組織として高めていただこう努めたい。

問

インフルエンザ予防接種の無料化を

今後インフルエンザは、流行期が長くなり、新型コロナと同時に対応しなければなら

ない。高齢者・幼児は、肺炎・脳症などの重症化のリスクが高い。予防接種の個人負担は、65歳以上が1,300円、中学3年以下が2,000円、12歳以下は2回接種。子育て支援にもつながる予防接種無料化を、進めるべきである。

答 太田市長

国の医学的知見を尊重すべき。高齢者は定期接種（B類）であり、子どもは任意接種である。無償化はいかなるものかと思う。

妹島弘和

問



真庭市の森林経営

①真庭の森林は主要産業である林業・木材産業を支える重要な資源である。この資源を守り、将来にわたって、林業・木材産業を発展させていくためには、今の森林政策でよいのか。今後、打つべき対策について、市長の见解を問う。

②林業関連事業者に作業

の効率化、省力化で市が応援できないか。そして、産業としての森林を保っていくことはできないか伺う。

答 太田市長

①よそから見ると、真庭市はバイオマス発電を含めてよくやっているということだが、一皮むくと危機的。ちょうど今、木を伐採しなければならぬ時期に来ている。また再造林が2割くらいで、戦後の財産を真庭全体で食い潰している状態である。

我々は、森林経営管理法に基づく取組み、所有者の再編の取組みである「まにわ山守プロジェクト」、データを活用した「森林dXの取組」、課題に応じた「各種補助金の新設拡充」など、できることに取り組んでいる。

真庭市は1億8千万円ぐらいが森林環境譲与税で毎年入ってくる。これは大きな財源になる。地域の山を個人の利益だけではなく、社会的な利益というところから頑張れということが税で、その責任を果た



作業に励む事業者 林業・バイオマス産業課提供

して将来世代に真庭市全体の豊かな森林資源を引き継げるように頑張っていく。

②要は、経営として成り立つような形にどうしていくか。一定の経営できる面積で管理して、伐採、再造林していく。産業として成り立つ所にある程度厳選せざるを得ない。そのあたりを明確にしてやっていくということだ。

答 石原林業政策統括監

②補助対象者を市内の木材産業事業者にも拡大するとともに、対象機械も製材機械にも拡大していく。

MANIWA

SHIMIN
NO
HIROBA

市民の 広場

ここは市民みんなで
つくるページです
楽しい気持ちでご参
加ください



となりのヒト 素敵すぎる 紀由香



主催事業の時に掲げるランド旗
ESPa幸



千年待ち続ける亀 磯田百花

声

真庭市はがんばっている様に思い見えるんですけど、足元を見ると砂浜に作った城のように波にさらわれてなくなっていくように思います。なぜなのでしょう。

そう思うのは私だけでしょうか。

柴田 誠



真冬の神庭の滝 お猿さんに会いたい



クマタカ発見 D.K.



猫 祥楓



咲きほこるバラ PNくまちゃん

○浅野
氏平 森脇
事務局長 正和
齋藤 森田 西田 加藤
香織 敏久 文子 大悟

議会広報編集特別委員会

募集

絵画、イラスト、書、写真などを募集しています。

住所、氏名、電話番号を書いてください。ペンネームを希望される場合も連絡先と氏名が書いてあることが必要です。

応募先▶ 真庭市議会

宛先:20ページの帯欄に記載しています。

真庭市内9カ所で募金活動

真庭市議会、真庭市、真庭市職労合同で、1月25日から2月3日まで市内9カ所で行った「令和6年能登半島地震災害義援金」及び「ウクライナ人道支援街頭募金活動」において、多くの市民の大人から小さな子ども達までご協力していただくことができました。本当にありがとうございました。おかげさまでもちまして、能登地震義援金 215,309 円、ウクライナ募金 54,911 円と、多くの善意が寄せられました。

寄せられた募金は、日本赤十字社を通じ、支援を必要としている方々のために使わせていただきます。



能登半島地震・ウクライナ人道支援募金活動 イズミ前

産建が指定管理施設を視察

1月18日、産業建設常任委員会7名で所管の市内指定管理施設の内、北房、落合、湯原、勝山地域にある施設の現地調査を行いました。最初に道の駅醍醐の里へ行き施設見学の後、道の駅駅長より説明、質疑応答を行いました。次に北房なかつい陣屋を訪れ管理者より説明を受けました。その後湯原のひまわり館にてジビエ処理の方法など説明を受け同施設で鹿肉カレー、鹿肉バーガーなどの昼食をとり湯原民族資料館、駐車場2施設を見学後、神庭の滝、勝山堆肥センターで説明を受けました。



勝山堆肥センターを視察 竹原

文教が、問題がないか現地確認

2月14日、民間星のこども園と落合小学校区放課後児童クラブ建設予定地の視察にいきました。こ



放課後児童クラブ建設予定地 落合垂水

ども園では、施設内の見学ではなく保護者の送迎ルートと職員駐車場の説明を受けました。児童クラブでは委員から「クラブまで徒歩だと遠いのではないか」、「冬場や雨の日は暗くて危険では」、「保護者が車で迎えに行けないか」などの意見が出ました。執行部からは、「利用者は落合総合センターから徒歩で迎えに行く。送迎ルートの徹底を働きかける」と説明を受けました。

市民と語る会の名称が変わりました

1班

◎伊賀基之 〇中尾哲雄 小田康文
妹島弘和 森脇正和

7月20日(土)19:00 下河内コミュニティハウス

8月 3日(土)19:00 目木勤労者研修センター

4日(日)19:00 旧菅野邸(北房)

2班

◎緒形 尚 〇古南源二 伊藤義則
妹尾智之 西田文子 福島一則

7月20日(土)13:30 中和デイサービスセンターすずのこハウス

20日(土)18:30 樫西コミュニティハウス

21日(日)13:30 天津老人いこいの家

申し込みは不要です

3班

◎氏平篤正 〇岩本壮八 黒川愛
長尾 修 森田敏久 吉原啓介

7月24日(水)19:00 美甘振興局

26日(金)19:00 久世エスパスセンター

28日(日)13:30 英賀老人憩いの家(北房)

4班

◎入澤廣成 〇加藤大悟 浅野和昭
大月説子 柴田正志 庄司史郎

7月21日(日)13:30 湯原ふれあいセンター

21日(日)19:00 川上コミュニティセンター

27日(土)19:00 勝山文化センター

◎班長

◎副班長

日程

真庭市議会 ざっくばらんに語ろう

2024

GIKAI NO UGOKI

議会 の

動き

1月 2月編

ハラスメント研修を受講

2月16日、川崎医療福祉大学医療福祉学部臨床心理学科の谷原弘之教授を招き「政治分野におけるハラスメント防止について」をテーマとし真庭市議会議員研修会を行いました。最初に講師よりハラスメントの定義や種類の説明を受け、次に政治分野におけるハラスメントの現状、事例の説明、議員が受けたハラスメントのうち3分の2以上がパワーハラスメントであることなどの説明がありました。その後、議員から議員（職員）、有権者から議員へのパワーハラスメントの具体例を、次に世代間ギャップがあり特にZ世代の特徴を学び架空事例で対処の方法を学びました。最後にハラスメントの練習問題で5項目の事例でどの種類のハラスメントに該当するかなどをグループワークで意見交換して研修会を終了しました。



ハラスメント防止について研修を受ける 本庁舎

総務が交流定住センターと意見交換会



交流定住センターとの意見交換会 久世

1月24日に真庭市交流定住センターの藤本センター長とコミュニティデザインの松尾代表に交流定住センターの施設利用や相談状況、活動実績の説明を伺い、委員から空き家や仕事の相談などの対応状況について質問がありました。空き家は山ほどあるが、賃貸物件が少なく困っている、また、市内企業から移住者へ従業員募集をお願いされれば、ホームページCOCO真庭へ仕事を紹介していると説明がありました。意見交換会を通して今後の課題も見えてきました。

産建と真庭新農業経営者クラブ連絡協議会との意見交換会



新農業者経営クラブとの意見交換会 本庁舎

1月25日委員会室に於いて、産業建設委員会と真庭新農業経営者クラブ連絡協議会メンバー9名との意見交換を行いました。

メンバーには真庭市出身者、他県から移住してきた人等様々で、基幹作物もトマト等、酪農、ブドウ、お茶など様々でした。「農業経営の現状と課題」をテーマに意見交換が行われ農地の確保、販売、販路拡大等の課題が話し合われ、農地の借入の難しさ、補助金等の行政に対する意見のほか、農協と行政の情報を一元化して欲しいとのことでした。

27位

早稲田大学マニフェスト研究所議会改革調査部会発表

[過去順位]571→156→96→115→100→167→38→27位

請願・陳情は7月31日まで

HPをご覧ください



真庭市議会HP



真庭市議会FB

9月定例会の請願と陳情の受付は7月31日（水）までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いします。ただし、土日祝日等の市役所の閉庁日は除きます。市政などについての意見や要望がある時は、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。

6月定例会は

6月3日(月)から6月19日(水)

6月3日(月) 本会議(開会・議案上程・提案説明)

6日(木) 本会議(一般質問)

7日(金) 本会議(一般質問)

10日(月) 本会議(一般質問・議案質疑)

11日(火) 12日(水) 13日(木) 常任委員会

14日(金) 予算審査特別委員会

19日(水) 本会議(委員長報告・採決・閉会)

■会議は通常午前9時30分に開会します。

■正式には5月24日(金)の議会運営委員会で決定します。

問題 JR 西日本の株

1〇円分を取得



正

解者の中から15人に「落合の羊かん」が当たります。はがきに答えとあなたの住所・氏名を本ページ左欄に記載している真庭市議会までお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。締切りは5月31日(金)です。

前号の応募総数は76通で、正解者76人でした。ご応募ありがとうございました。



それ、録音されていますよ

議会おもしろ話

議員の職業は何だと思いませんか。地方公務員法第3条第3項に地方公務員と位置付けられています。例えば国勢調査の職業欄に議員という項目は有りません。なぜ無いの、と思い調べてみて分かりました。

真庭市では、公務員とは市の職員で市長の目指す市政運営を行い、議員はその政策を調査研究し可否を決めています。市長や議員はお互い選挙で選ばれ二元代表制をとっていて、良い市にするために働いています。

他市では議員と市職員との間でハラスメントがあり、問題となっています。私たち議員もハラスメントの研修を受けました。ハラスメントには、パワハラ、セクハラ、マタハラ、初めて聞いた丸ハラと、受けた側がハラスメントと感じたらハラスメントだと学びました。議場などでは言葉には気を付けなければいけません。議員が「へえから、ごめん」と議場を笑わせましたが、そのまま議事録になります。それ、全部、録音されていますよ。(西田)

傍聴

テレビ等に映ることがありますがご了承ください

真庭市議会を傍聴しに是非お越しください。真庭市役所4階の議場入口で、住所、氏名、年齢をご記入頂ければ簡単に議場の傍聴席へお入り頂

MIT

真庭市議会定例会は、真庭いきいきテレビ「MIT」のサブチャンネル(122)で生中継しています。一般質問や各常任委員会付託案件審査は録画し後日放送しています。

議会改革は更なるステージへ